



地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



佐藤 忠志

- ・ 国道40号線整備計画・雄信内トンネルについて
- ・ J R 宗谷線名寄―稚内間の存続問題は

国道40号線整備計画・雄信内トンネルについて

質問 国道40号線は稚内から旭川まで地域住民の国道として、物流や急患輸送、観光など旭川や道央圏をつなぐ重要な道路となっていて。特に道北は国道の整備、高速道路の未整備区間が目立ち、過疎地の物流、観光、広域医療に支障が出ている状況のほか、冬期間の交通の円滑化など課題が山積している。

町長 天塩防災事業は、天塩町字オヌブナイサクカへ

シ間の改良工事等の全体の進捗率は77%。

音威子府バイパス事業は、令和2年11月音中トンネルが貫通し、全体の進捗率は87%。令和7年度全線開通の見通し。

雄信内以南の国道整備について、一般国道40号名寄・稚内間整備促進期成会及び宗谷地域総合開発期成会に要請するほか、国道40号線については、全区間整備に向けた要望、手法について、検討協議を図り、今年度の要請活動を行う準備を進めている。

雄信内トンネルについては、防災・減災・国土強靱化の観点に加え、地域内外のアクセス、光ケーブルなどの情報インフラ構築においても要所であると認識しており、沿線自治体や期成会等と調整を図り、何らかの形で整備の必要性について

て関係機関へ伝えることを検討する。

J R 宗谷線名寄―稚内間の存続問題は

質問 J R 北海道は財政再建を目指す策として減線、廃線、無人駅を自治体管理に移すなど、沿線住民、自治体に厳しい選択を求められ、いずれ名寄以北は廃線との見方もあり、存続に向けた活動状況及び期成会、協議会等の構成内容を伺う。

協議会、北海道鉄道活性化協議会、宗谷本線マイレール意識向上事業実行委員会等において、宗谷本線維持・存続に向けたJ R 北海道等への支援に係る要望、宗谷本線の完全高速化や鉄道利便性向上に向けた検討協議や宗谷線存続に向けた地域住民の意識向上を資する活動を行っているが、町としても単独での活動には限りがあるので、各関係機関と連携を図りつつ、宗谷線の維持に努めていく。



高橋 秀明

- ・ 診療所の健康診断書作成について
- ・ 電源三法交付金や幌延深地層研究センターの固定資産税で貯まった基金50億円の使い道は

診療所の健康診断書作成について

質問 幌延町国保診療所で作成する健康診断書が他町と比べ、受け取れるまでの日数がかかり過ぎていると指摘が町民から寄せられている。遅れる原因はどこ

にあるのか。

町長 当診療所は常勤医師1名体制で行っており、通常診療業務の他に24時間救急医療を始め、あらゆる業務の合間に診断書を作成しているため、時間がかかる。町民の健康に関わる案件であり、対応策を検討する。